Embajada del Japón
El Salvador

Colaboración del Pueblo Japonés

令和３年度対エルサルバドル共和国
草の根・人間の安全保障無償資金協力
「サント・ドミンゴ・デ・グスマン市エル・カウロテ村飲料水供給計画」引渡し式

2023年4月21日、有吉勝秀駐エルサルバドル日本国大使は、サント・ドミンゴ・デ・グスマン市役所マウリシオ・カルデロン市長、ヌエバ・ヘルサレン村落開発協会フェリペ・ルエ会計役並びに裨益住民等と共に、「**サント・ドミンゴ・デ・グスマン市エル・カウロテ村飲料水供給計画**」の引渡し式を行いました。本計画にかかった総費用は230,709.10米ドル、日本からの支援総額は144,187.00米ドルです。

本計画は、エル・カウロテ村のロス・ペレス地区とロス・リベラ地区の700人以上の住民、安全で清潔な水を提供し、住民の生活環境を改善するとともに、飲用に適さない未処理水を摂取していたことによる胃腸疾患の削減にも寄与します。

サント・ドミンゴ・デ・グスマン市エル・カウロテ村案件サイト

この地区の長年の夢は、自宅の蛇口から飲料水を得ることでした。しかしながら、現在に至るまで、近くの湧き水や川まで小道や未舗装の徒歩や馬に乗り水汲みに行かなければなりませんでした。乾期には、近く湧き水や川が枯渇するため、1km以上離れた場所までの重労働を課せられていました。

サント・ドミンゴ・デ・グスマン市役所は、このニーズに応えるため、同地区住民と協力し、在エルサルバドル日本大使館の協力を得て、今日、この夢を実現させることができました。

サント・ドミンゴ・デ・グスマン市エル・カウロテ村案件サイト

計画実施前：水を得るために1時間以上歩かなければなりませんでした。

計画実施後：清潔で安全な飲料水を自宅で楽しむことができるようになりました。

私がこの地域に住むようになってから16年、私たちは水なしで生活してきました。川まで水汲みに行く時間は、１回に約1時間、毎日２～４回行く必要がありました。今では水汲みに使っていた時間を家族のために捧げています。この夢を叶えてくれた神様、日本政府、市役所の皆様に感謝しています。

ロレーナ・カロリーナ・ラミレス
裨益住民

今日私たちは、エル・カウロテ村の生活環境を向上させるこの飲料水供給計画を達成できることができ、大変嬉しく思っています。今日から、皆様は、川まで水を汲みに行く必要がなくなります。その時間を大切な家族のため、勉強のため、仕事のために費やしてください。
この飲料水供給計画は、日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力によって実現したものです。

駐エルサルバドル日本国大使
有吉 勝秀

本日、この計画達成に尽力してくださった方々全員にお祝いの言葉を述べたいと思います。カウロテ村の住民は、今後、川に水汲みに行く必要がなくなります。在エルサルバドル日本大使館の皆様には、市長として心から感謝の意を表します。

マウリシオ・カルデロン
サント・ドミンゴ・デ・グスマン市市長

今日、私たちはこの飲料水供給計画を達成することができ、皆様に感謝の意を表したいと思います。日本大使館、市役所、そして私たちが一丸となり、各家庭に水を引くというこの夢を実現するために努力したことに感謝します。私たちのたゆまぬ努力は、今、この地区全体の喜びとなっています。

ヌエバ・ヘルサレン
村落開発協会
副会計役
マリ・ルス・サンチェス

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施しているこれらの案件は、「**人間の安全保障**」の概念である「人間一人ひとりに着目し，生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために，保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル人、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みているものです。